

保健室だより

平成30年度第4号 千葉県立千葉南高校保健室

皆さんのフレッシュな血液をください！！

昨年度から南高では学校献血を始めました。なんと100名もの生徒や先生が協力してくれました。この貴重な血液は、現在病気と闘っている方々のもとに届けられ、大切な命が救われています。献血はみんなができる、身近なボランティアです。もし自分の家族が輸血が必要な病気になったら…。もしその時に、若い人の献血ばなれが進んでいて、必要な血液が手に入らなかったとしたら…。そういう時代が来てしまうかもしれないんです。だから高校生のうちに献血を体験しておくことで、大人になっても定期的に献血をしてくれる人材を育てるために、学校献血を始めました。南高のみんなは困ってる人のために役に立ちたいという思いのある子がたくさんいると私は思います。11月28日現在、同意書を提出してくれたのは25名です。昨年を超える献血協力者をお待ちしています。

以下は患者さんの体験です。 峰山 真彩（みねやま まい）さん

5歳のときに急性リンパ性白血病を発症。現在では病気を克服し、元気に学校に通っている。将来の夢は薬剤師。「自分もいっぱい助けてもらったから、薬をつくる人になり、病気の人を助けたい」

5歳のとき、急性リンパ性白血病を発症。それ以来、お母さんと二人三脚のような形で闘病生活を乗り越えました。「“お母さん、自分、死ぬんやろ？”ふと5歳の真彩が口にした言葉。おしゃまな女の子なんでね…髪が命だったんですよ。だから私に切られた日は、相当にショックだったみたいで、わんわん泣いていました。」抗ガン剤の副作用で髪が抜け落ちることを心配し、お母さんが真彩ちゃんの髪を短く切り揃えた頃は、「次はどうなるんだろう」と不安にさいなまれていました。「娘にとって献血は、いのちのリレーみたいなもの。輸血パックには採血された場所が明記されており、ある時、そこに『沖縄』と書かれていて、遠く沖縄からはるばる海を越えて、うちの子を助けるためにやって来てくれたんだなって。献血してくださった方々に、とにかく『ありがとう』の気持ちでいっぱいです。」（談：真彩ちゃんのお母さん）

難読漢字クイズ…今回は生き物だけじゃないよ

- 1 屠蘇 2 清汁 3 御強 4 雲呑
5 馴鹿 6 熊貓 7 海象 8 土竜

※前はちょっと難し過ぎたよね。今回は読めるのもあるんじゃないかな(*^_^*)

前号の生き物難読漢字の答えだよ

- 1 蝸蜒:げじげじ 2 螻蛄:おけら
3 虎魚:おこぜ 4 蛞蝓:なめくじ
5 守宮:やもり 6 水馬:あめんぼ
7 蚯蚓:みみず 8 鼯鼠:むさび

インフルエンザ等の感染症にかかったら

まず、学校に連絡する。そして医師が学校に行っても大丈夫という「登校許可証明書」をもらうまでは、自宅でゆっくり休養してね。証明書の用紙は、南高のHPに貼り付けてあるからダウンロードして使ってね。